

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

令和8年 8月 12日

長野県知事 様

住 所 長野県上田市中央2-10-15
氏 名 株式会社グリーンプランフォー
代表取締役小林桂三

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		小県郡長和町和田字野多谷 5094-15, 5094-21, 5094-22
事業区域の位置及び面積		別添位置図及び事業区域図のとおり 1367㎡
太陽光発電施設の合計出力		49.5 kW (太陽電池の合計出力 99.84kW)
太陽光 発電事 業の内 内容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (無し 小売電気事業者との相対契約)
	設置工事着手予定日	令和 8年 9月 12日
	設置工事完了予定日	令和 9年 3月 12日
	運転開始予定日	令和 9年 4月 12日
	施設撤去予定日	令和 49年 4月 12日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による強度計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		該当なし
備考		連絡先 株式会社グリーンプランフォー (電話番号) 0268-71-6750 (FAX番号) 0268-71-6751 (電子メールアドレス) kinokopw4170@gmail.com

注 1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第 1 位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第 1 位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第 9 条第 1 項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 3 台 / 1 日（延べ 400 台） 運行時間 8：00～17：00 経路 別紙事業区域図に記入		
造成工事	盛土の有無	(有) ・ 無	想定盛土量 48 m³(小堤)
	切土の有無	(有) ・ 無	想定切土量 48 m³（土側溝）
	事業区域外からの搬入量		— m³
	事業区域からの搬入量		48 m³
排水処理設備の有無	(有) ・ 無		
	排出経路	土側溝にて自然浸透	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

太陽光発電所 工事計画（和田5094-15他2筆）

		2026年				2027年			
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
工事内容	準備・整地	▽	▽						
	杭打ち		▽		▽				
	パネル設置			▽			▽		
	フェンス設置						▽	▽	
	電気工事					▽		▽	
	電力関係								☆
	完了								□
							運転開始2027年4月を目途		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	稜線や斜面上部、高台ではない。 土地の掘削はせず、地形に合わせた設置計画にした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	小規模設置のため景観への影響は少ない
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	住宅や主要道路には隣接していない。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	大規模な平滑面が連続しないようにアレイを小さくして計画した。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	施設の高さは最低限必要な積雪に対応した高さとした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	広範囲にならないよう隔離などを最小限に抑えて設置面積を極力抑えた。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	パネル設置計画において出来るだけ同じ方角にそろえ、列を合わせ規則性を持たせた。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	地形に合わせた設置により周囲との整合性に配慮した。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	裏面は山林なので見えない。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		周囲に配慮し、反射防止コーティングされたパネルを選定した。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		周囲に配慮し濃紺のパネルを選定した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	出来るだけ反射の少ないものを選定するよう配慮した。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	メーカーの仕様として同系色にすることが難しかったが、景観に配慮した色とした。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		自然の色に近いものを選定し支柱は茶色とした。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		中部電力の指示に従い、対応をしていく。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		できる限り色彩に配慮し、自然と調和の取れるものを選定した。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		植栽は行わない。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		植栽は行わない。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		配置や向き、傾斜角や材料などは近隣の方に迷惑をかけないように十分配慮していきたい。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		月に1～2回定期点検を行う
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		適合を確認し、出来る限りの努力をした。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

眺望点からの完成予定図

指定眺望点である湯遊パーク総合グラウンドからは、眺望方向の範囲外のため見えない。



行為地

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

2026 年 7 月 31 日

太陽光発電施設の設置場所	小県郡長和町和田字野多谷 5094-15, 5094-21, 5094-22	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	長野県上田市中央 2-10-15 株式会社グリーンプランフォー 代表取締役小林桂三 TEL：0268-71-6750 FAX：0268-71-6751	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	同上
合計出力	49.5 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 49 年 4 月 12 日	
損害保険の加入状況	☐ 有 ☒ 無	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	自社にて撤去を行い、天然更新により復旧予定。 FIT 法の廃棄費用積み立て制度に準拠し独自で積み立てを行う。	
維持管理計画及び状況の公表方法	月 1 回の自社による定期点検 請求があった際に開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

<太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容>

中部電力、行政と連携をとり速やかに対応できるようにする。

<土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容>

土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じた時には、二次災害が起きないように速やかに損壊部分を撤去し、周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合には復旧作業を行い、いち早く元通りになるよう最善を尽くす。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年 12 回	1日
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			
			ボルト、ナットの緩みがない。			
			固定強度に不足の懸念がない。			
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
			雨水、じんあい等の侵入がない。			
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。			
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。			
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。			
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。			
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない			
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。			

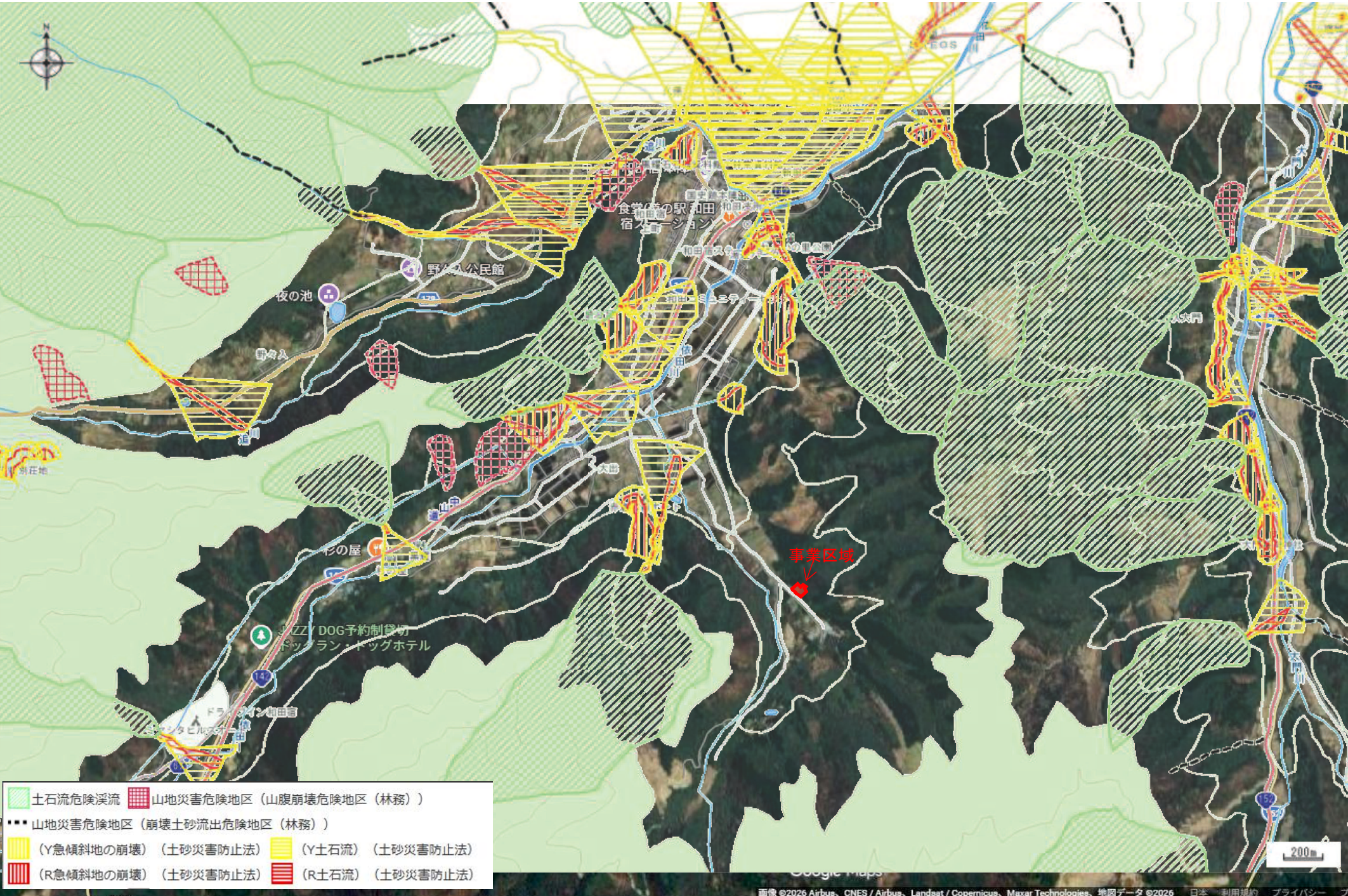
附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 12 回	1日
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☒	土側溝	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	☐	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			

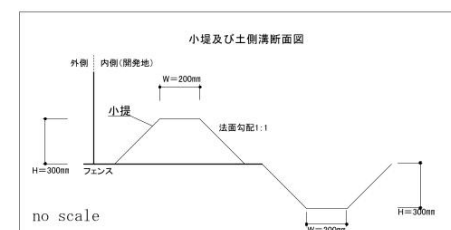
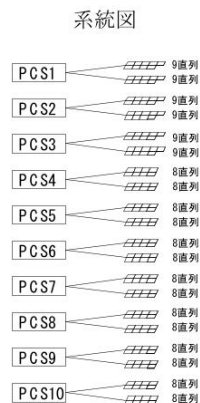
			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。			
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。			
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。			
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

位置図



長野県小県郡長和町和田字野多谷5094-15, 5094-21, 5094-22



工事名	太陽光発電設備設置工事	
発電出力	出力容量 49.5kw	モジュール容量 99.84kw
モジュール	JKM640N-66HL4M-BDV (2382×1134×30) 156枚	
太陽光発電設備	421.39㎡(パネル1枚2.701㎡×156枚)	
PCS	SUN2000-4.95K-LB0-NH×1台 SUN2000-4.95KTL-NHL2×9台	
架 台	アルミ架台/ 角度20度 /スクリュー杭基礎	
パネル方位	真南-30度	
設置場所	田	
登記簿面積	197㎡(5094-15), 546㎡(5094-21), 624㎡(5094-22)	
事業面積	フェンス内: 1367㎡	
雨水計画	土側溝面積: ㎡	フェンス総延長: 186m

現況写真撮影方向



現況写真



(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

令和8年 8月 10日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		長野県長野県上田市中央2-10-15 株式会社グリーンプランフォー 代表取締役 小林桂三
事業太陽光発電施設の設置の場所		小県郡長和町和田字野多谷 5094-15, 5094-21, 5094-22 (設備ID 無し 小売電気事業者との相対契約)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		鍛冶足地区全戸 回覧と事業基本計画書への記載
説明会の概要	日時	令和 8年 7月 12日 19:00～20:00
	場所	鍛冶足公民館
	参加者数	16名
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	(株)グリーンプランフォー ■■■

注 1 説明会を 2 回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

説明会経過報告書

令和 8 年 8 月 11 日

届出者 住所 長野県上田市中央 2-10-15 千曲錦ビル二階
氏名 株式会社グリーンプランフォー
代表取締役 小林桂三

住民等への説明経過について、次のとおり報告します。

1 開催日時	R 8 年 7 月 12 日 (日) 19 : 00 ~ 20 : 00
2 開催場所	鍛冶足公民館
3 出席者	説明者 : (株)グリーンプラン・フォー [REDACTED] 出席者 : [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] 計 16 名
4 説明内容	別添資料参照
5 質疑等 (事業者の回答を含む)	別紙参照
6 その他	
7 記録者	(株)グリーンプラン・フォー [REDACTED]

用紙が不足する場合は、別紙の添付も可能

別紙

5 質疑等

(事業者の回答を
と)

Q：土地の所有者は誰ですか

A : ■■■様の土地になります。

Q：事業は何年間行う予定ですか

A：現時点で事業終了の時期は定めておらず、設備を適切に維持・管理しながら、長期的に継続して事業を行う予定です。

Q：会社が潰れた場合どうなるんですか

A：倒産する予定はありません、その場合は事業の承継や設備の売却等を含め、適切な対応を行います。地域に影響が生じないように、必要な維持管理を継続していく予定です。

Q:事業を行うなら自治会に迷惑がかからないよう最後まで責任をもって下さい

A：承知いたしました。責任をもって事業を行います。

Q：県条例では、太陽光発電事業についてどのような基準が定められているのですか。

A：県条例において、事業区域や設備、周辺環境への配慮、住民への説明等について一定の基準が定められており、本事業についても条例の基準に沿って計画・手続きを進めております。

Q：今回の説明会には、どのような意図があるのですか。

A：県条例に基づき、地域の皆様に事業内容や工事計画をご説明し、ご理解をいただくとともに、ご意見やご要望を伺うことを目的としております。

上記の内容を確認しました。

日付: 2026年 8 月 11 日

署名：

R8. 7. 12(日) 19:00～ 鍛冶足公民館

住民説明会資料



施工会社：株式会社 グリーンプランフォー

事業推進室長

〒386-0012 長野県上田市中央2-10-15 千曲錦ビル2階

TEL 0268-71-6750

本日の資料内容

- ・表紙
- ・本日の説明会について
- ・設置予定地
- ・発電所事業データ / 防災対策・維持管理
- ・立面図
- ・配置図
- ・低反射モジュールについて
- ・フェンスについて

本日の説明会について

本日はお忙しいなかご足労いただき、ありがとうございます

皆さま、本日はお忙しい中、鍛冶足地区の太陽光発電事業に関する説明会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の説明会では、皆さまからいただいたご質問・ご意見を踏まえた内容を中心に、より具体的な工事の進め方や安全対策についてご説明させていただきます。

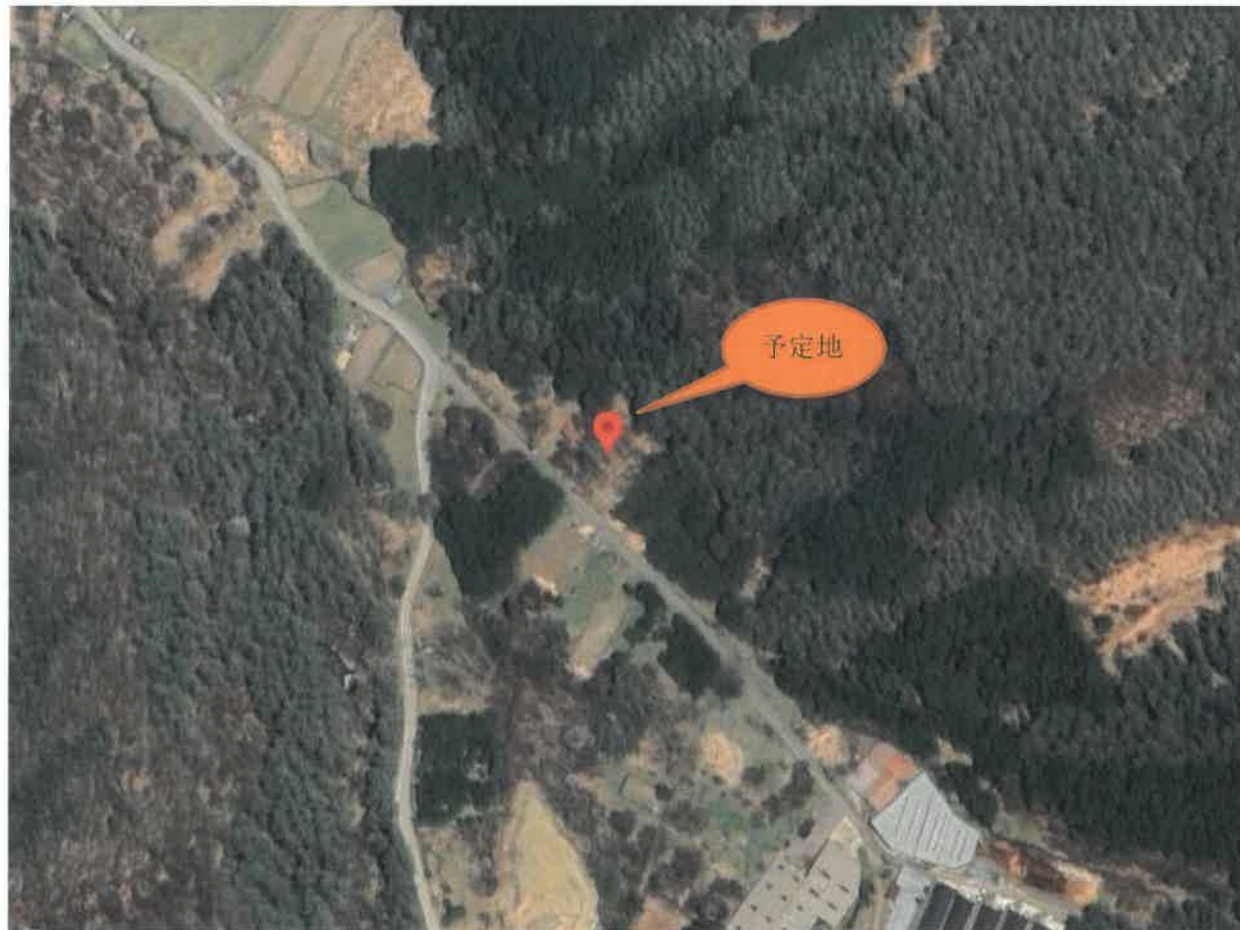
この地域で事業を行うにあたり、皆さまにご理解とご安心をいただくことが何より大切だと考えております。私どもからの一方的なご説明だけでなく、皆さまからのご質問やご意見をしっかりと伺い、誠意をもって対応していくための大切な機会と考えどうぞ最後までお聞きいただき、忌憚のないご意見をお寄せくだされば幸いです。

本日はよろしくお願いいたします。

鍛冶足地区におきまして、別紙の予定地に太陽光発電設備の設置を計画しております。

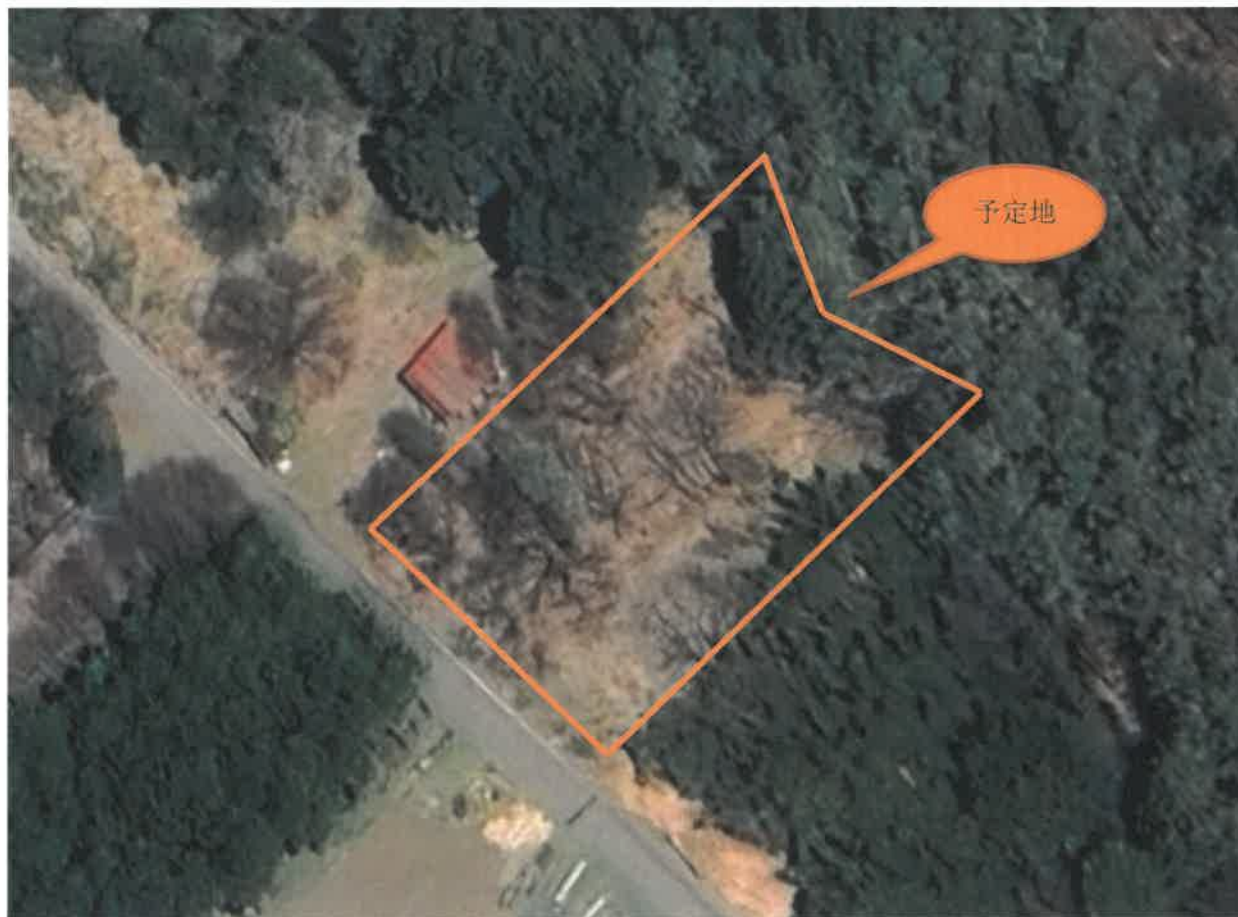
なお、雨水対策や安全管理等に十分配慮した計画を立て、近隣にご迷惑をおかけしないよう最大限に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

設置予定地 下図の場所で予定しております



設置予定地

以下の場所で予定しております



発電所事業の概要及び防災対策・維持管理体制について

- 設置場所： 長和町和田字宇野多谷 5094-15,5094-20,
5094-21,5094-22 計4筆
- 敷地面積： 1681 m²
- パワコン容量： 10台 49.5kw (モジュール99.84kw)
- 架台： アルミ架台、傾斜20度
- 基礎： スクリュー杭
- 年間発電量： 約54,450 kwh
- 工事開始予定： 2026年8月 ～ (2026.6月現在計画)

緊急連絡先

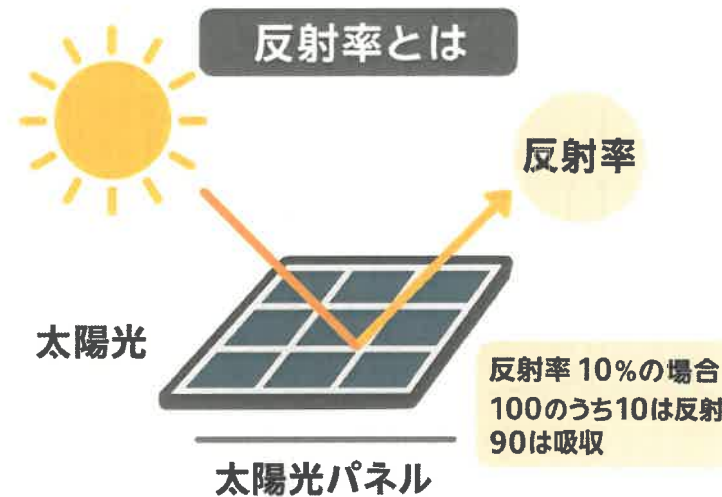
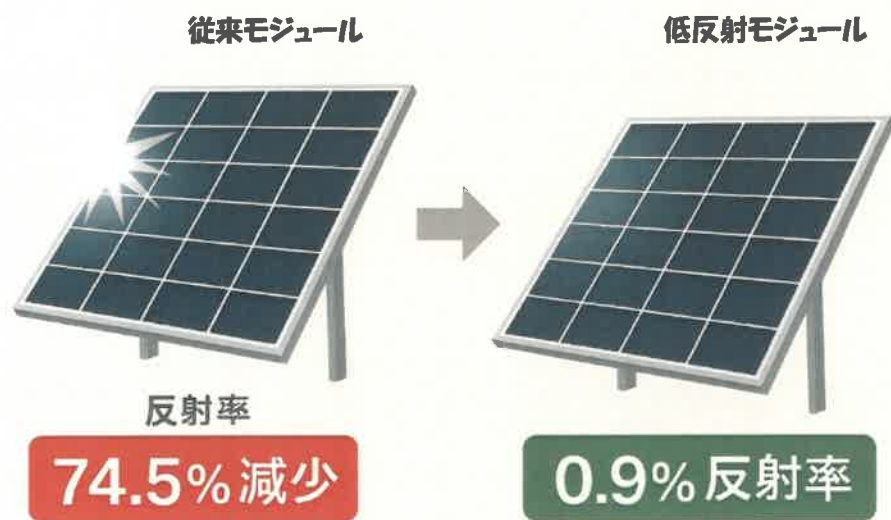
〒386-0012 長野県上田市中央2-10-15
株式会社 グリーンプランフォー TEL： 0268-71-6750
担当： XXXXXXXXXX

防災対策/維持管理

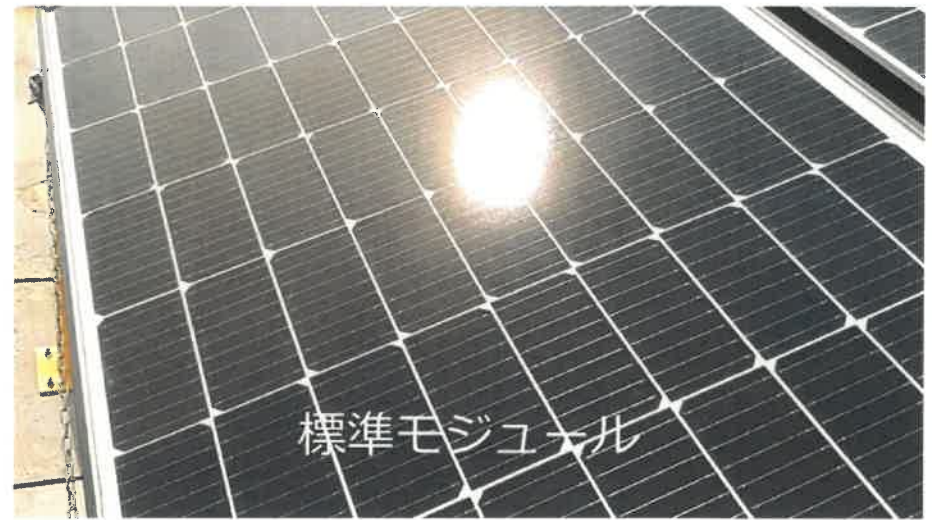
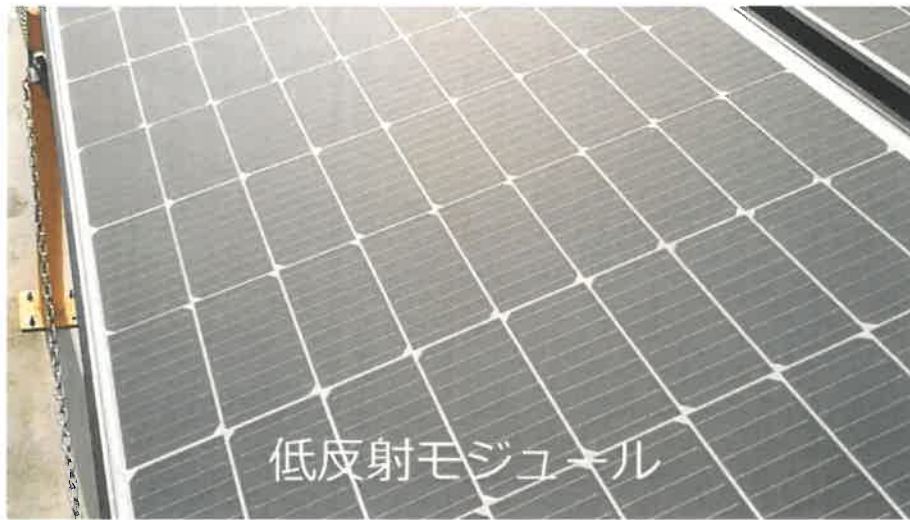
- 雨水処理： 小堤及び素掘り側溝設置（場内浸透処理）
側溝 幅60cm×深さ30cm（配置図参照）
側溝の泥上げ、清掃（適宜）
- 雑草対策： 定期的な除草、防草シート
- 安全対策： フェンスの設置による外部侵入防止、
看板（高圧注意・侵入禁止）設置による
周囲への注意喚起、門扉の施錠
- 景観対策： フェンスを目立たないブラウン色使用
- 環境対策： 低反射コーティングパネル使用
- 事業終了後： 原状復旧

※ 詳細は、別紙配置図に記載

低反射モジュールについて



低反射モジュールサンプル①



低反射モジュールサンプル②

低反射モジュール

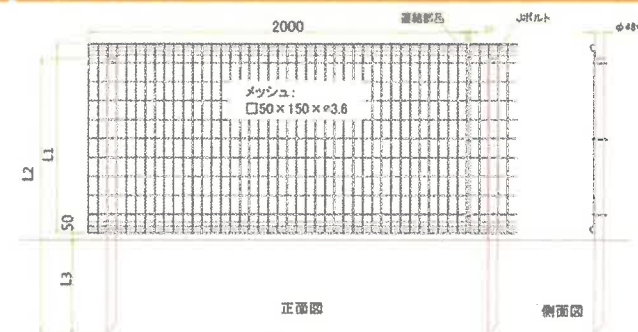


標準モジュール





製品標準図



JR
フェンス
基礎無し

本体 規格 仕様

部 品	仕 様
フェンス本体	炭素鋼製 SS400 重量メッシュ100g/m ² + 鍍動浸漬塗装
支柱	AL8005-T5アルミ材質 表面処理 6063酸化
連結部品	ステンレス鋼製 1.4301
Jボルト、六角ボルト、六角ナット	

※ 日本工業規格(JIS A5518ネットフェンス構成材料、JIS A5519金沢鋼格子フェンス及び門扉)の強度基準に基づいた設計となっています。

基礎施工



電動ハンマー

※ 以上3種方式都可以高支柱設置可能、手打ちタイプ型電動ハンマー施工更加便捷。

サイズ表

型 式	欄高(L1)	柱埋込み(L2)	柱長(L3)	連結部品数	Jボルト数
JR-F06	600	250	840	2	2
JR-F08	800	370	1100	2	2
JR-F10	1000	500	1430	2	2
JR-F12	1200	550	1680	3	3
JR-F15	1500	750	2180	3	3
JR-F18	1800	900	2630	3	3
JR-F20	2000	1000	2930	4	4

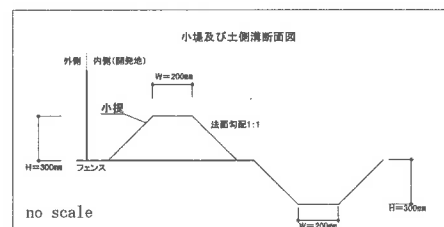
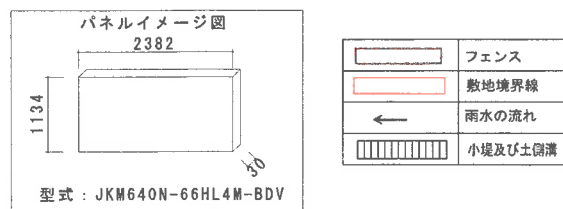
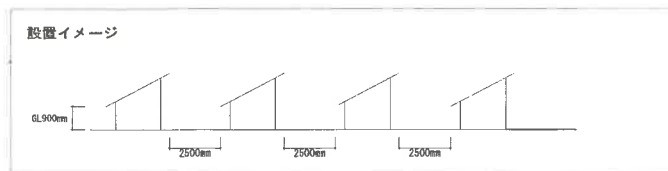
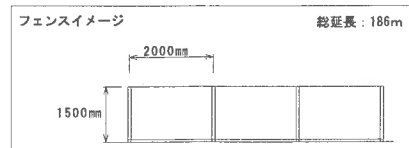
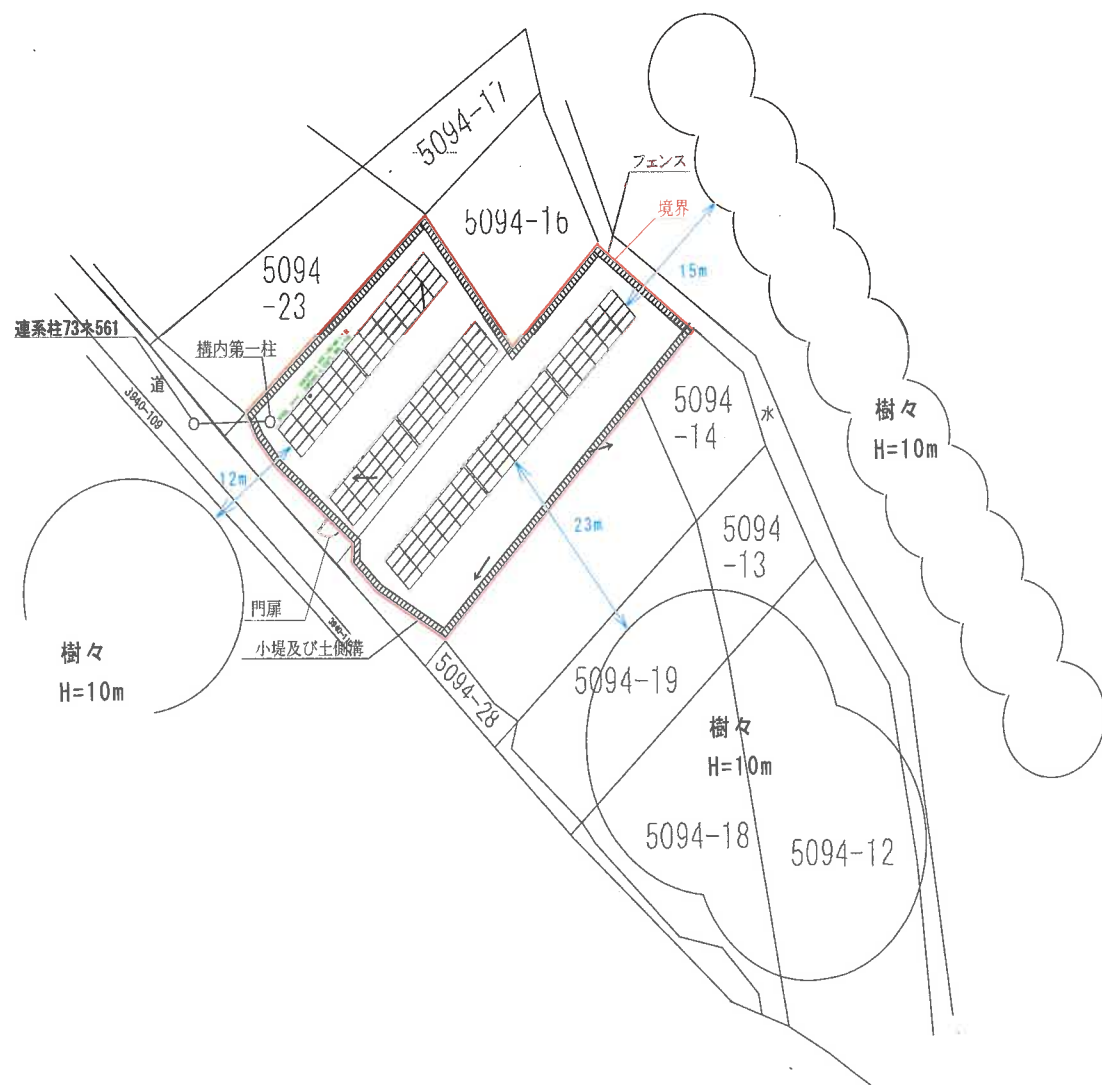
※ 上記以外の仕様要望される方、お気軽にお問い合わせください。

施工事例



GP035

長野県小県郡長和町和田字野多谷5094-15, 5094-21, 5094-22



工事名	太陽光発電設備設置工事	
発電出力	出力容量 49.5kw	モジュール容量 99.84kw
モジュール	JKM640N-66HL4M-BDV (2382×1134×30) 156枚	
太陽光発電設備	421.39㎡(パネル1枚2.701㎡×156枚)	
PCS	SUN2000-4.95K-LB0-NH×1台 SUN2000-4.95KTL-NHL2×9台	
架台	アルミ架台/ 角度20度 / スクリュー杭基礎	
パネル方位	真南0度	
設置場所	田	
登記簿面積	197㎡(5094-15), 546㎡(5094-21), 505㎡(5094-20) 624㎡(5094-22)	
事業面積	フェンス内: 1072㎡	
雨水計画	土側溝面積: ㎡	フェンス総延長: 186m

図面名	縮尺	作成日	作成者	モジュール枚数・容量
太陽光モジュール配置図	1/500	2026/5/27		640W×156枚=99.84kW

A

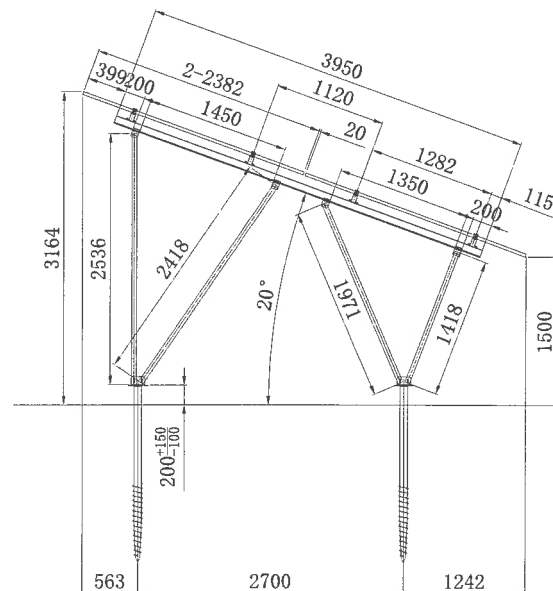
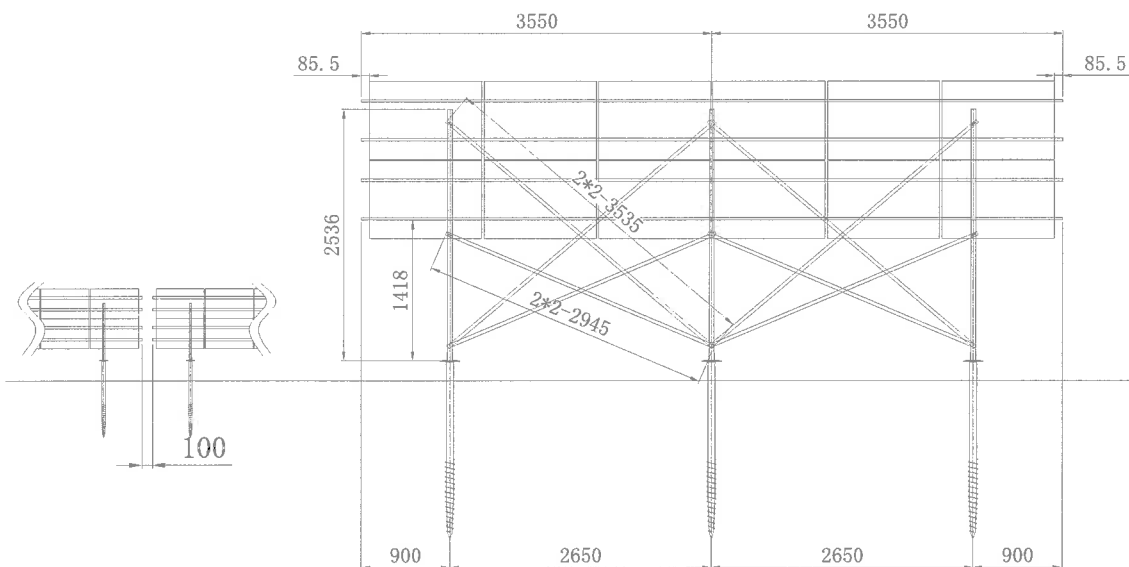
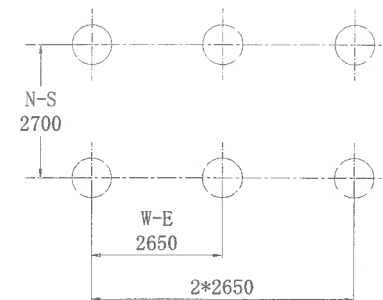
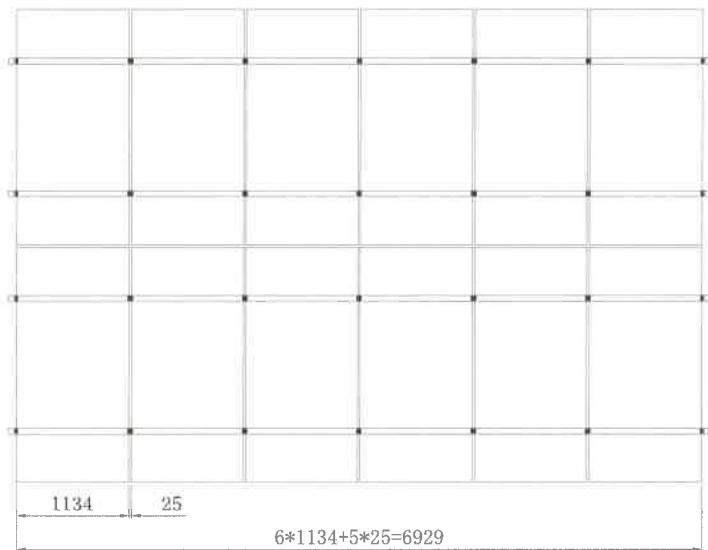
B

C

D

E

F



案件番号: DM25-2606048 設計日: 2026.06.22 Rev: V 1.0

案件名:

著作権はJM SOLARに有し、許可を得ず、盗用を厳禁し、違反者は必ず追及する。

JM SOLAR
晶兆能源科技
Xiamen Jinmega Solar Technology Co., Ltd.

設置角度 (°):	風速 (m/s):	地表面 粗度:	垂直積雪量 (cm):	地域分類:	モジュール:	2382*1134*30mm
20°	30	III 類	63	一般区域	配列:	2*6
					JIS 規格:	JIS C 8955:2017
					単位:	mm
					角法:	